



特別な空間と時間を青葉山エリアで

仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョンを策定しました

交流人口の一層の拡大を目指して

仙台はじまりの地とも言える青葉山エリアには、豊かな自然とともに、歴史、文化、観光、学術など、さまざまな資源が集積しています。市では、このエリアを「国際学術文化交流拠点」と位置付け、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の整備や、仙台城大手門復元に向けた基礎調査などを進めています。

3月には、おおむね10年後を見据えた「仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョン」を策定。市が持続的に発展するために重要な青葉山エリアの価値や魅力を向上させ、交流人口の一層の拡大を図ります。ビジョンでは、「杜の都の『歴史』と『今』と『未来』をつな

ぐ」をコンセプトに、青葉山エリアの多様な特性や価値を踏まえ、4つの目指す将来像と、その実現に向けた取り組みの方向性を設定しました。また、エリア内施設と中心部商店街との連携など、エリア内だけでなく、都心との回遊性の向上に向けた取り組みの方向性も示しています。

今後、ビジョンの実現に向け、事業者や大学など、エリアに関する多様な主体と連携しながら、情報発信の充実や、回遊促進に向けた取り組みなどを推進していきます。

仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョンは市役所本庁舎1階市政情報センターや、市ホームページ等でご覧いただけます。

青葉山エリアが目指す4つの将来像

>> 取り組みの方向性の例

① 市民や来訪者を惹きつけ、仙台の観光交流をリードする

>> 旅行者向けガイドなど、エリアの資源を生かした観光コンテンツの充実、磨き上げ等

② 自然を生かし、杜や水と暮らす都市文化を未来に引き継ぐ

>> ウォーキングコースの充実など、憩い、自然に親しめる環境の整備等

③ 歴史や文化・芸術を伝え、創造性を育てる

>> 歴史や文化・芸術の資源を生かした、より深い学びや新たな楽しみの提供等

④ 学都の知と先端技術で未来社会を牽引する

>> MICE（学会・国際会議等）受け入れ体制の強化等

青葉山エリアの将来（イメージ図）



この特集に関するお問い合わせは、交流企画課 ☎214・1261、FAX211・1917